

■ご注意



- ① CON打設前に、スラブを荷取ステージとして利用する場合は梁側の型枠に荷重を掛けない様、スラブ下に別途支保工が必要となります。
- ② 搬入時、資材の落下やずり落ちによるけがを防止、腰を痛めないようにしてください(現場での小運搬は無理のないようご注意ください)。
- ③ 鋼材の切り口は鋭利であり、また、切断時にはバリも生じやすいので、手を傷つけないようにしてください(皮手袋等の保護手袋を着用してください)。
- ④ 素手による取り扱い、または素肌の露出部は、ケガをするおそれがありますのでご注意ください(素肌はなるべくさけるような服装にしてください)。
- ⑤ 梱包用スチールバンドおよび針金等の切断時ははねあがりなどによるケガが生じますのでご注意ください(梱包を解く場合は状況を判断しながら作業をしてください)。
- ⑥ 搬入時や保管時のクレーン荷揚げ等による運搬に際しては、布製平型吊りバンドを使用する等、製品の角や表面の損傷に注意してください。また、製品の上に重い物を乗せないでください。

本カタログに掲載されている内容は、製品についての情報提供を目的とするもので、規格として明記したもの以外は品質を保証するものではありません。本カタログに記載されている情報の誤使用または不適切な使用により生じた損害については責任を負いかねますのでご了承ください。本カタログに記載されている内容は、今後予告なしに変更されることがありますので、最新の情報についてはお問い合わせください。

製造元  **関包スチール株式会社**

大阪本社
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-6-21 TEL.06-6449-8811 FAX.06-6459-4666

鹿島工場
〒314-0012 茨城県鹿嶋市平井2270 TEL.0299-82-3841 FAX.0299-90-3122

東京本社
〒104-0031 東京都中央区京橋2-13-10 京橋MIDビル2F
TEL.03-6225-2192 FAX.03-6225-2193

URL <http://www.kanpoh.co.jp>

代理店

PAT.

セコフォーム

キーストンプレート一体成形梁打込み型枠

型枠工事の効率化に貢献



 **関包スチール株式会社**

セコフォームなら 工期短縮と作業の効率化を 実現します。

面倒な作業と一定の工事期間が必要で、作業後には多くの建築残材が発生する型枠工事。キーストンプレートを一体成形したセコフォームは、こうした従来の型枠工事の概念を大きく変える梁打込み型枠です。工場生産による優れた精度品質、セコフォームをセットするだけという簡単な作業、軽量であることによる作業効率の良さ、コンクリート打設後の型枠脱型作業が不要……。こうした多彩な特長が、型枠工事の工期短縮と作業の合理化に大きく貢献します。また、工事後は梁と一体化するため残材も発生しません。従来の合板型枠に代替することで、森林資源の保護にも役立ちます。

特長

■ 工期の短縮、合理化がはかれます。

施工図に基づきあらかじめ工場生産するため、現場では搬入したセコフォームを通常梁受け支保工の上にセットするだけ。すぐに配筋・コンクリート打設を開始できます。

■ ノンセパレータ工法を可能にします。

セコ高850mm以下の場合、上部に開き止め板を取付けるだけ。セパレータを使わずにコンクリート打設が可能です。

■ 軽量で、作業能率が抜群。

亜鉛メッキした薄鋼板を素材に使うことで、セコフォームは従来のベニヤに比べて、大幅な軽量化を実現。揚重機などが使用できない場合でも、人手で運べる重さに分割して取り付けることができます。

■ 脱型不要だから残材が発生しません。

■ 発注サイズは自由です。

梁巾、梁高および梁長などをご要望の仕様にあわせることができます。

■ 梁貫通スリーブ孔の加工も事前に処理できます。

スリーブ孔の加工は、あらかじめ精密に処理できます。

■ 電磁波のシールド効果があります。

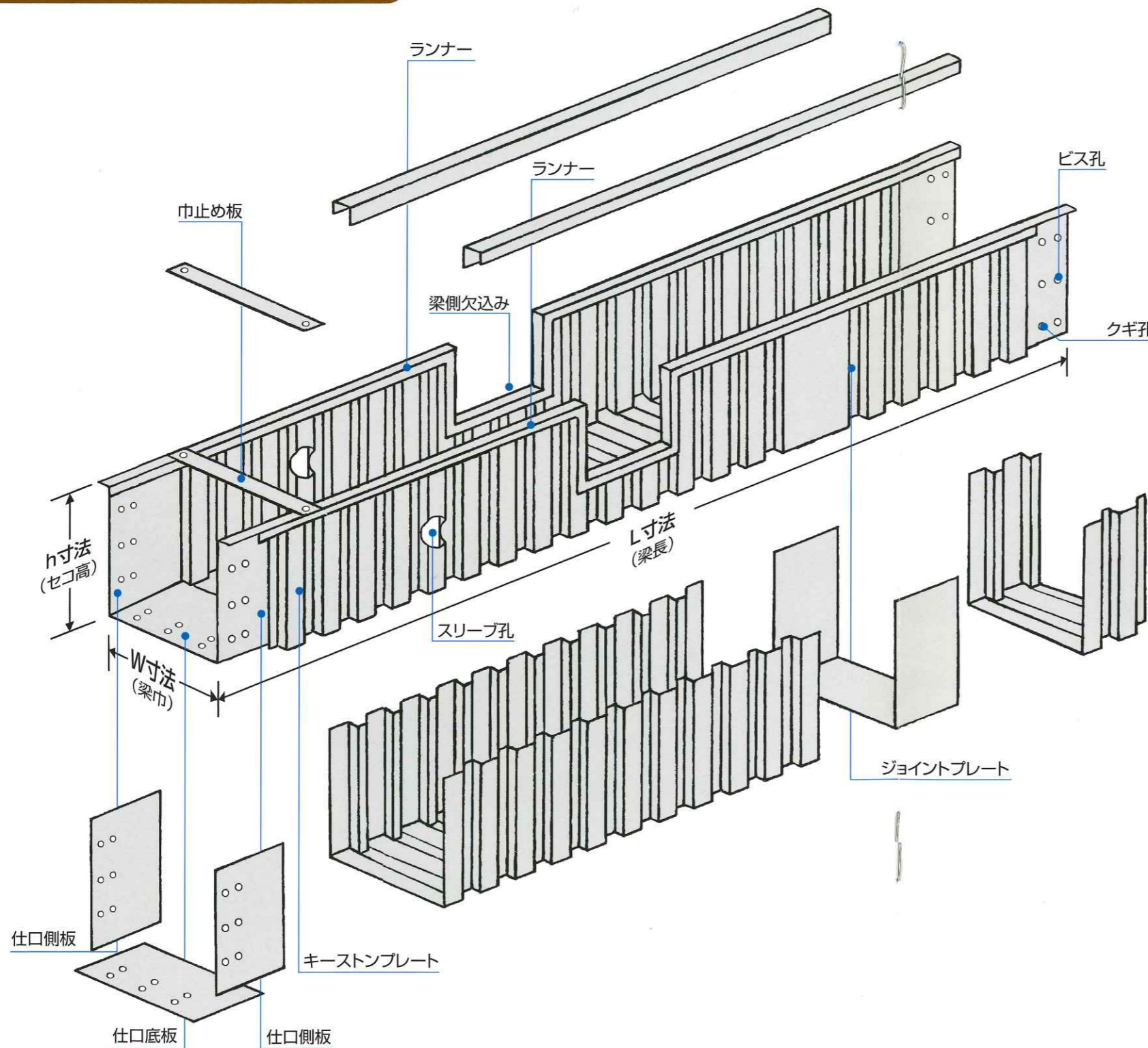
電磁漏洩やノイズなどに関する対策が手軽に行えます。

■ 森林資源保護にも役立ちます。

仕様素材はすべてスチール。従来の合板型枠に代替する工法で、貴重な森林資源の保護にも貢献します。

常に優れた品質をお届けします。

セコフォームの構造と各部の名称



セコフォーム部材の寸法

| 種類 | 寸法 |
|-----------|---|
| 仕口板(側・底) | 0.8×190×L (t) (W) |
| キーストンプレート | (0.5~0.8)×650×25(山高)×L (t) (W) |
| ランナー | 1.4×(25+38+35)×L(デッキプレート用) 1.4×(25+29+35)×L(同上以外) (t) (H1) (W) (H2) |
| ジョイントプレート | 1.2×260×W (t) (L) |
| 巾止め板 | 1.2×25×L (t) (W) |

※梁天端部はランナー(板厚:1.4mm)で補強しています。

セコフォームの製造可能寸法

| 項目 | 製造可能寸法 |
|--------|------------------------------|
| 幅 | 1,000mmまで |
| 高さ | 1,000mmまで |
| 長さ | 7,000mmまで |
| スリーブ孔径 | 85mm・110mm・135mm・160mm・185mm |

※上記以上の時は別途お打合わせ

セコフォームの寸法許容差

| | 項目 | 許容差 |
|--------|--------|---------------|
| W寸法 | 梁巾 | ±5 |
| h寸法 | セコ高 | ±5 |
| L寸法 | 梁長 | 0~-20 |
| | 曲り(そり) | ±10(2/1000以下) |
| スリーブ孔径 | 孔径 | 0~+5 |

別表-1

(スラブ厚 150mmの場合)

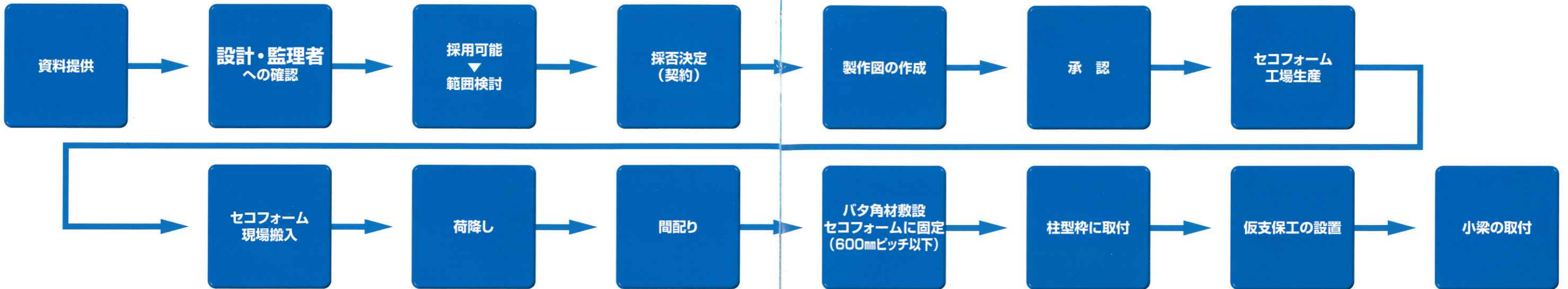
| セコ高 | 巾止めピッチ(目安) | 巾止めピッチ |
|--------------------|------------|---|
| $h \leq 450$ | 1,000mmピッチ | デッキプレートビス止め (200mmピッチ)と併用の場合 600~1,000mmピッチ |
| $450 < h \leq 650$ | 500mmピッチ | |
| $650 < h \leq 800$ | 400mmピッチ | |
| $800 < h \leq 850$ | 300mmピッチ | |

特記

- 長さ方向7,000mm以上は、ジョイントプレートで延長して所定の梁長にします。
- ノンセパレータ工法の場合、上部に巾止め板を別表-1の通り、取付けてください。
- セコ高が850mmを超える場合は、側面中間部にセパレータを使用してください。

型枠作業を合理化した迅速な作業工程。

セコフォームの計画から施工までの手順 (一般的な手順です)



▲工場生産



▲搬入



▲荷降り・間配り



▲クレーンによる柱型枠に取付



▲支保工の設置



▲小梁のセット



あらゆる建築工事で活躍中。

■セコフォームの実施例



■梁、床ともに打込み型枠で施工した例



- セコフォーム+デッキプレート
- 作業工程は一段と短縮できます。

■免震用梁の施工例



■ハイリフトを使用した例

